・こけ楽効果をより持続するための方法・

❶ 下処理

水槽の水を抜き、汚れをスクレーバー、固めのスポンジ・**メラミンスポンジ**等で汚れを取り去ります。

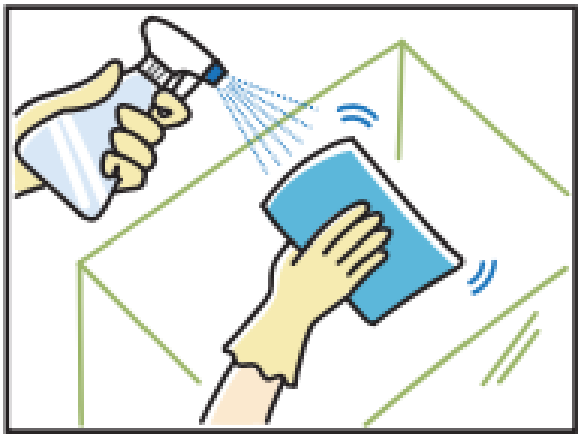
新品の水槽でも**油膜**が残っていると充分にコーティングできないことがありますので、**マイクロファイバークロス**や不織布、市販の**油膜落とし**でしっかりと除去します。

❷ コーティング

50mgで縦横約20cmコーティングできます

少し湿らせた眼鏡拭き等の薄手の**マイクロファイバークロス**や**研磨成分の入った薄めのスポンジ**等に**こけ楽**を少々付け、少し圧をかけながら擦り込みます。

アクリル水槽、プラスチック水槽・水槽コーナーのシリコン部分は**薄く柔らかめのスポンジやウール**をご使用ください。



親水性を確かめてから水で余剰分をふき取る

良く濡らしたクロスで**ムラを拭き取り、**次ページの**「コーティングのチェック」**を行えば完成です。

すぐに**注水**しても構いません。

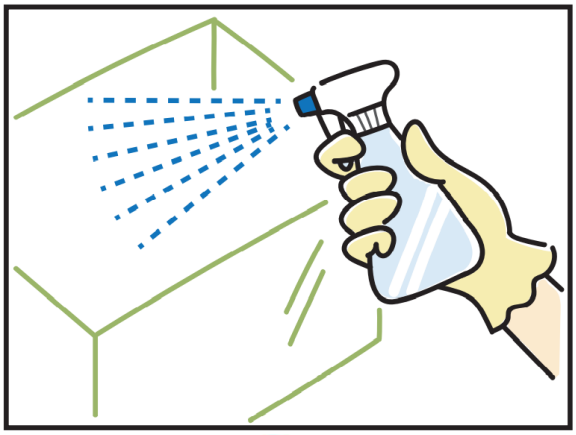
こけ楽の透過度向上・反射の低減効果はすぐに実感できます。

③ メンテナンス

綿状のコケが少し見えたとき、水替え時、リセット時等には**柔らかいスポンジ**やマグネットタイプのクリーナーで軽く拭き取ってください。

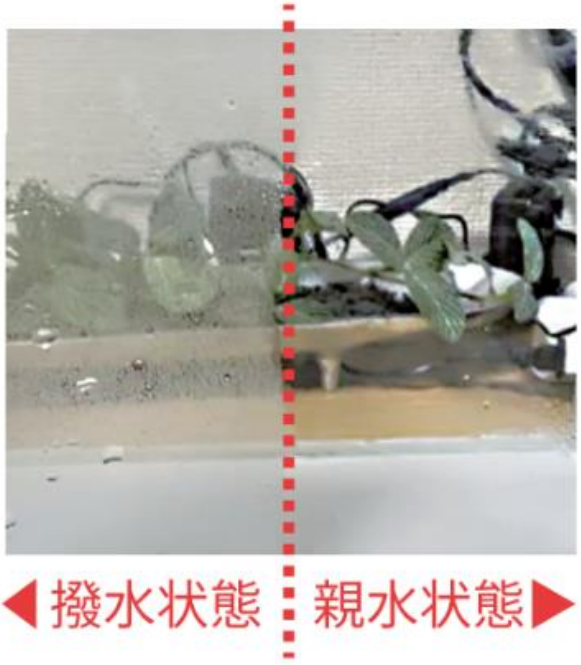
フィルターの汚れが目立つ場合は都度掃除してください。

コーティングのチェック



コーティングがうまくいったかどうかをチェックする方法です。

コーティング後スプレーボトルで水を吹きかけます。うまくコーティングできると水を弾かず、表面にサッと広がります（**親水状態**）。



画像左側のように水をはじいて水玉ができてしまう（**撥水状態**）部分を見つけた場合は**その場所だけ再下処理/ 再コーティング**を行ってください。

視界が良くなるので**植物**ケースや**爬虫類・昆虫水槽**にも嬉しい効果です。

☑ こけ楽したのにコケが生えてきた？ というときのチェックポイント

1. 水流不足・フィルター詰まりではないですか？

コケが繁殖する条件がそろっている水槽では条件が飽和してこけ楽の効果を上回ってしまうことがあります

そういう場合、フィルターの物理ろ過を手入れしコケの飽和をを抑えるか水流の確保を行ってください

2. 下処理不足

新品の水槽でも目に見えない汚れが付着している可能性があります
本説明書の最初の「１，下処理」を参考にしてください

3. 塗布漏れ

親水性チェックが充分でないと塗布漏れを発見できていないことがありますが、こけ楽はチェックと再塗布ができますので失敗がありません

本説明書では親水性チェックのタイミングや方法を詳しく記載しましたのでご参考ください

4. 施工にスポンジ等のしみこみやすいものを使用した

こけ楽の成分の本体はジェルの中に含まれたシリカです

ジェルを塗ったつもりでもシリカが直接しっかり水槽面に擦りこまれないとコーティングできません

眼鏡拭きの様な毛先の短いマイクロファイバークロスが理想です

5. 施工圧の不足

慣れるまではどのくらい力をいれればいいのかわからないかもしれませんが、親水性チェックをしながらその加減をマスターしてください

車のコーティング等コーティングに慣れた方はポリッシャー・ルーター等を使用されてもかまいませんが、ガラスの焼き付けや水漏れの原因にならないように充分気をつけてください

※　水槽のコケ・汚れは多種多様、それぞれ違った条件下で発生します
上記では考えられないケースもあることをご了承ください

注意事項

1. 水槽にコーティングする際は接合部のシリコン部分には強い力や摩擦を与えないようにしてください。水漏れの原因になります。

   シリコン部はスポンジ等で優しく塗布してください。

2. こけ楽使用後、特に長期間使用の予定のない場合はしっかりとフタを閉め、できればビニールテープでさらに封止する等して保管してください。 水分が飛ばなければ変質しません。

3. 特殊な加工がされていたり反射防止等のシートの貼られた水槽にはこけ楽の施工を避けて下さい。

4. アクリル水槽・プラスチック水槽は傷がつかないかどうか目立たないところで一度チェックしてください。

5. 回転工具（ウールバフ装着）を使用すると効率よく作業ができ、長期間こけ楽の効果を持続させることが可能ですが、お客様の責任にて行われます様お願い致します。

6. ヒーターやポンプ、エアチューブにも使用できますが、紙・布・生木など、水が浸み込むものにはコーティングできません。

カンタン動画マニュアル

MAIKAI LLC.

お問合せ：info@kokeraku.com